

会員の皆様へ

1. 学術会議における活動分野

本研究会は第18期登録団体として農学系第6部の農学研連に所属していますが、第19期（本年6月申請）の活動分野について、理学系への登録も視野に入れて執行部で論議してきました。その結果、これまでの6部での活動実績と、学術会議自体の登録分野に大幅な改革が予想されることもあり、少なくとももう一期はこれまでの農学系第6部に登録し、学術会議の動向を見ながら活動分野の選択を柔軟に考えていくことになりました。また、所属する研連については18期の農学研連から変更して、農業総合科学を第一希望とすることとしました（2002.9申請）。広い領域をカバーする本会の特徴に鑑み将来に向けた皆様からのご提言をお待ちしています。

2. 研究会賞が決まりました。本号140ページの記事をご覧ください。

学術功労賞：近藤始彦氏（中央農業総合研究センター）「熱帯陸稲の耐乾性向上を目的とした根系形成に関わる遺伝的要因と環境要因ならびにその交互作用に関する研究」

学術奨励賞：A. Briones氏（北大院・地球環境科学，現イリノイ大博士研究員）「イネ（*Oryza sativa* L.）の窒素取込みにおける根環境のアンモニア酸化細菌の関与と役割」

学術奨励賞：中野明正氏（農業技術研究機構・野菜茶業研）「野菜施設生産における根圏環境のストレス緩和技術に関する研究」

受賞の皆様おめでとうございます。さらなるご研究の発展をお祈りします。

3. 苧住基金による助成

苧住氏寄付金は、同氏のご研究分野に鑑み、2003年に開かれる木本植物関係の国際会議へ参加する学生（会員）への参加助成金に使わせていただく事になりました。本号139ページの応募要項をごらんになりご応募下さい。

4. 第17回研究集会は拓殖大学工学部仁木氏のお世話で11/9-11/10に開催されます。

詳細は135ページをご覧ください。

なお、来春の第18回集会は大阪市立大学理学部保尊氏のお世話で大阪・梅田駅前第3ビル内の大阪市立大学学術交流センターで6月14日（土）に開催されます。

5. 研究会ホームページの維持管理

現在、阿部氏に尽力頂いている研究会HPの管理（情報の選択や加筆削除等）の一部をアルバイトの方に委託する事になりました。

6. ISRR関係の状況と今後の対応

森田茂紀現ISRR副会長に加え、山内章氏を副会長としてPerson会長に推薦しました。第7回ISRRシンポは、ドイツ開催（2006年開催を主催者側希望、Person会長は2004年または2005年開催を要請）が予定されています（森田氏の報告：2号99ページをご参照下さい）。

2002年9月 会長 谷本 英一